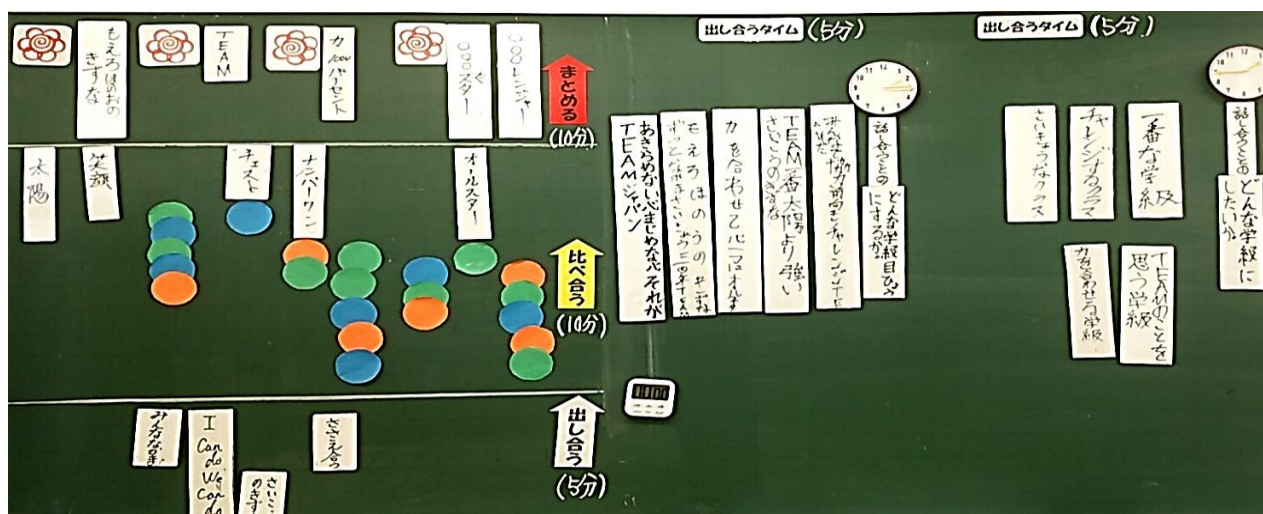


～議題：このクラスにぴったりの学級目ひょうを決めよう！～

【ねらい】

自他の思いや願いを大切にしながら、学級をよりよくするための目標を設定することができるような話し合いにする。



【写真①：板書】

【学級会ノート】

4月27日(金) 5時間目

ぎ だい 議 題	このクラスにぴったりの学級目ひょうを決めよう！	
ていあん りゆう 提案理由	このクラスにぴったりの学級目ひょうを決めると「がんばろう」という気持ちになれるし、昨年の3・4年生よりも協力してレベルアップしたクラスにしたいから。	
めあて	キーワードなどを使って、工夫した意見を考えよう。	
《キーワード》	○ がんばろう ○ 協力 ○ レベルアップ	
決まっていること	○ 一年かけてたっせいできるような目ひょうにする。 ○ キャッチコピーは、できるだけ短い言葉にする。	
しかい 司会グループ	司会	黒板
話し合うこと	自分の意見(理由もしつかりと書く)	
《話し合うこと①》 どんな学級に したいか	【自分の考え】例：○○○な学級 【理由】短いことばでわかりやすく	
《話し合うこと②》 どんな学級目 ひょうにするか	【自分の考え】キャッチコピーだけでもいいですよ。	



指導のワンポイント

☆ 事前に子どもの目的意識を高めるための工夫

- ・学級活動(3)「めざせ！理想の自分！」との関連（写真②）
教師や保護者の思いや願いも学級目標を考える一つの材料にするために教室設営
- ・考えを広げるために他校の学級目標を教室に常設（写真③）



【写真②：学級活動(3)との関連】



【写真③：他校の学級目標】

☆ 自他の思いや願いを大切にしながら合意形成を図っていくための学習過程の工夫

- 話し合うこと①「どんな学級にしたいか」（5分）
 - ・「出し合う」タイム
 - ① 学級をよりよくしていくための自分の考えを理由とともに発表させた。
- 話し合うこと②「どんな学級目標ひょうにするか」（30分）
 - ・「出し合う」タイム（10分）
 - ① 事前に考えてきた学級目標を一人ずつ発表させた。
 - ② 学級目標に入りたい言葉を発表させた。

※コの時の座席の中心に他校の学級目標を設置（写真④）

- ・「比べ合う」タイム（10分）
 - ① 賛成意見を発表させた。
- ・「まとめる」タイム（10分）
 - ① キーワードの数が多かったり、三つ揃っていたりする意見を一つずつ決めた。
 - ② 心配なことがあれば、アイデアとともに発表させ、決めることにした。

例：○○○レンジャー→○○○スター



【写真④：資料活用の工夫】

アドバイス

○ 語彙数を増やすための工夫

学級目標は学級生活をよりよく過ごしていくための拠り所となるものである。そのためにも、できるだけ全員の思いや願いが込められた目標を設定することが望ましい。そこで、事前に他校の学級目標を掲示したり、教師が考えてきた言葉などを掲示板に書いたりしておくことで、語彙数を増やすとともに話し合いへの意識付けもできると考える。